第23回

みんなの尼活皆議

尼崎の未来に向けたまちづくりについて

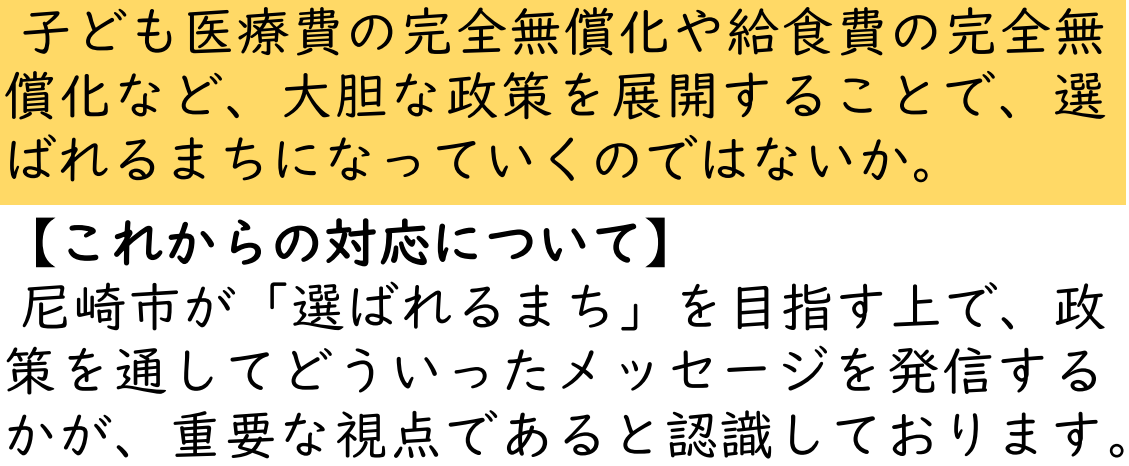
～公募で集まっていただいたみなさまと～

令和８年６月14日、尼崎市のまちづくりについて、参加者の皆さまに説明し、また参加者の皆さまからは、地域共生社会の実現や教育・子ども子育て支援施策のことなど様々なご意見をいただきました。

「選ばれるまち」であるために

【参加者からのご意見①】
子ども医療費の完全無償化や給食費の完全無償化など、大胆な政策を展開することで、選ばれるまちになっていくのではないか。

【これからの対応について】
尼崎市が「選ばれるまち」を目指す上で、政策を通してどういったメッセージを発信するかが、重要な視点であると認識しております。
そのため、政策に込めた思いをしっかりとターゲットに伝えることも意識しながら、各種事業を展開することで、「選ばれるまち」を目指すとともに、多くの皆様が「豊かさ」を実感できるようなまちづくりを進めていきます。





健全な学校教育環境を

【参加者からのご意見②】
学校現場が荒れていると感じるため、子どもたちの規範意識の醸成や想像力を育てる仕組みを検討してもらいたい。

【これからの対応について】
学校では道徳の時間を要として、教育活動全体を通して、子どもたちの規範意識や、他者を思いやる気持ちを育てており、今後もそうした教育活動を継続・強化していきます。
また、昨今ではSNSにおける問題も増加しているため、児童・生徒が情報社会で正しく安全に活動できるよう情報モラル教育にも力を入れて取り組んでいきます。

行政が作成する文書の難しさ

【参加者からのご意見③】
公的な文書が理解しにくいと感じている。行政が発信する内容がしっかりと受け取り側に伝わるよう全てをやさしい日本語にするなどしてはどうか。

【これからの対応について】
市民等に向けて発出する文書については、正確を期すあまり表現が難解になりやすく、読み手に内容が十分に伝わらない場合があることは課題であると認識しています。
そのため、専門用語を平易に言い換え、要点を分かりやすく示すとともに、内容や対象に応じた適切な伝達手段の選択も含めて、読み手に正確に伝わるよう改善していきます。



各種窓口での対応の統一を

【参加者からのご意見④】
市役所の窓口単位で例えば申請書等の記載ルールが異なることもあるため、窓口対応の簡略化と統一化を図って欲しい。

【これからの対応について】
「子育て世帯の転入」をモデルケースとして、職員による窓口体験調査を実施した際、窓口手続において氏名や住所を複数回にわたって記載する必要があることなど、窓口手続上の課題を改めて認識したところです。
そのため、これまで取り組んできた「行かない窓口」に加え、「待たない・書かない窓口」の実現、いわゆる「窓口のスマート化」に向けた取組を進め、手続に係る手間と時間を市民・事業者の皆さんにお返しできるよう取り組んでいきます。

高齢者に配慮した道路環境

【参加者からのご意見⑤】
歩道に休憩できるスペースを一定間隔ごとに設置したり、街路樹の根上がりによる凹凸の解消など、高齢者でも安心して歩くことができるよう歩道環境の改善をお願いしたい。

【これからの対応について】
街路樹の根上がりについては、巡回パトロールや市民からの通報により発見した箇所は、順次補修の対応を実施しています。
また、歩道の休憩スペースは、駅前の滞留空間等においてベンチ等の設置も含めた道路空間の整備を検討していきます。

ボートレースの売上促進

【参加者からのご意見⑥】
ボートレースの売上は市の財政にも貢献していることもあり、大型のレースを誘致するための取組を進めて欲しい。

【これからの対応について】
これまでからグレードレース開催場の調整を行う日本モーターボート競走会に対し、グレードの高いレースの誘致に向けて、要望活動を実施してきています。
ご意見のとおり、ボートレースの収益は、尼崎のまちづくりに大きく貢献していることから、こうした活動は今後も継続して実施していきたいと考えています。

みんなの尼活皆議



（※）参加者の皆さまのご意見や取組中（または取組予定）の事業等は、代表して一部のみを掲載しています。
この他にいただいたご意見等は、尼崎市公式ホームページに掲載の車座集会の対話録をご覧ください。